明和町タイムライン（防災行動計画）

タイムラインとは台風の接近によって河川の水位が上昇するときに、標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめることで「逃げ遅れゼロ」に向けた効果を期待するものです。

※洪水は自然現象であるため、その都度、台風、降雨、河川の状況等を考慮して判断する必要があります。

自分や家族がどう行動するのか記入してみよう！

タイムライン

時間は目安

-72h

-48h

-24h

-18h

-15h

-12h

-6h

-3h

0h

氾濫発生

気象情報

○台風予報

○大雨注意報・洪水注意報発表

○大雨警報・洪水警報発表

水防団待機水位到達

利根川：八斗島水位観測所（水位0.80m）
渡良瀬川：足利水位観測所（水位3.00m）
谷田川：藤の木橋水位観測所（水位2.70m）

氾濫注意水位到達

利根川：八斗島水位観測所（水位1.90m）
渡良瀬川：足利水位観測所（水位3.30m）
谷田川：藤の木橋水位観測所（水位3.20m）

避難判断水位到達

利根川：八斗島水位観測所（水位3.90m）
渡良瀬川：足利水位観測所（水位4.90m）
谷田川：藤の木橋水位観測所（水位4.00m）

○暴風警報発表

氾濫危険水位到達

利根川：八斗島水位観測所（水位4.80m）
渡良瀬川：足利水位観測所（水位5.40m）
谷田川：藤の木橋水位観測所（水位4.17m）

◇大雨特別警報発表

※台風最接近

明和町

警戒体制

○関係者・機関との協議
○情報収集、施設点検
○水防資機材、土のう準備
○休校の判断、体制の確認等

災害警戒本部体制

○水防団（明和消防団）詰所待機
○自主避難所開設・情報提供
○要配慮者施設等に洪水予報伝達
○水防団（明和消防団）出動

災害対策本部体制

避難準備・高齢者等避難開始発令

○情報伝達

防災行政無線、めいわお知らせメール、広報車、ホームページ、テレビ、ラジオ等

○避難所開設

避難勧告　発令

○情報伝達（上記＋緊急速報メール）
○避難者への支援

避難指示（緊急）発令

○情報伝達（上記 ※広報車除く）
○避難者への支援

○自衛隊等への派遣要請

住民の皆さん

○テレビ、ラジオ、インターネット等による気象情報の確認　※随時
○総合防災マップの確認
○非常用持出品 の準備
○自宅の安全確認

避難の検討

ハザードマップで避難所、避難ルートを確認してください。また町外へ避難する場合の検討をしてください。

○自主避難所開設情報の取得
（めいわお知らせメール、ホームページ、テレビ等）

自主避難開始

要配慮者避難開始

○避難情報の取得　※随時
○避難の準備（要配慮者以外）

避難開始

※全住民が対象です。
※町外への避難も十分検討してください。

避難完了

※遠方への避難が不可能な場合、近隣の高い施設や自宅の２階以上へ避難する。
＝垂直避難

マイ・タイムライン

タイムライン